

交通ICカード導入・連携等に係る検討状況について

1 検討概要

並行在来線への交通ICカード導入に合わせ、他のICカードとの連携方法について、以下の3ケースについて、利便性、汎用性、コストの観点から比較検討を行った。

- (1) ケースⅠ … 県内カード※1との相互利用が可能
- (2) ケースⅡ … 県内カードとの相互利用+ICOCA(JR西日本)等※2の片利用※3が可能
- (3) ケースⅢ … 県内カードとの相互利用+ICOCA(JR西日本)等との相互利用が可能

※1 地鉄・富山ライトレール(導入済)、万葉線(導入予定)の各ICカード

※2 ICOCA(JR西日本)、Suica(JR東日本)、PASMO(首都圏鉄道バス各社)など全国の主要な10種のカード

※3 県内の交通機関でICOCA等は利用できるが、県内カードをICOCA等の利用エリアで使用できない

	利便性(カードの互換性)	汎用性(カードの多機能化)	初期費※2
ケースⅠ (県内利用のみ)	県内カードは県内利用に限定	地域独自のサービス※1が可能	9~13億円
ケースⅡ (ICOCA等の片利用)	県内カードは県内利用に限定 全国主要カードが県内で利用可能	同上	12~17億円
ケースⅢ (ICOCA等との相互利用)	県内カードと全国主要カードが相互に利用可能	地域独自のサービスに制約大	31~36億円

※1 ・乗り継ぎ割引、職員証・学生証、ポイントカード利用など

※2 ・金額は並行在来線・万葉線の施設費用と地鉄・富山ライトレールの改修費用の合計額

・最大値は委託調査結果の金額、最小値は県が実勢価格ベースに修正した金額

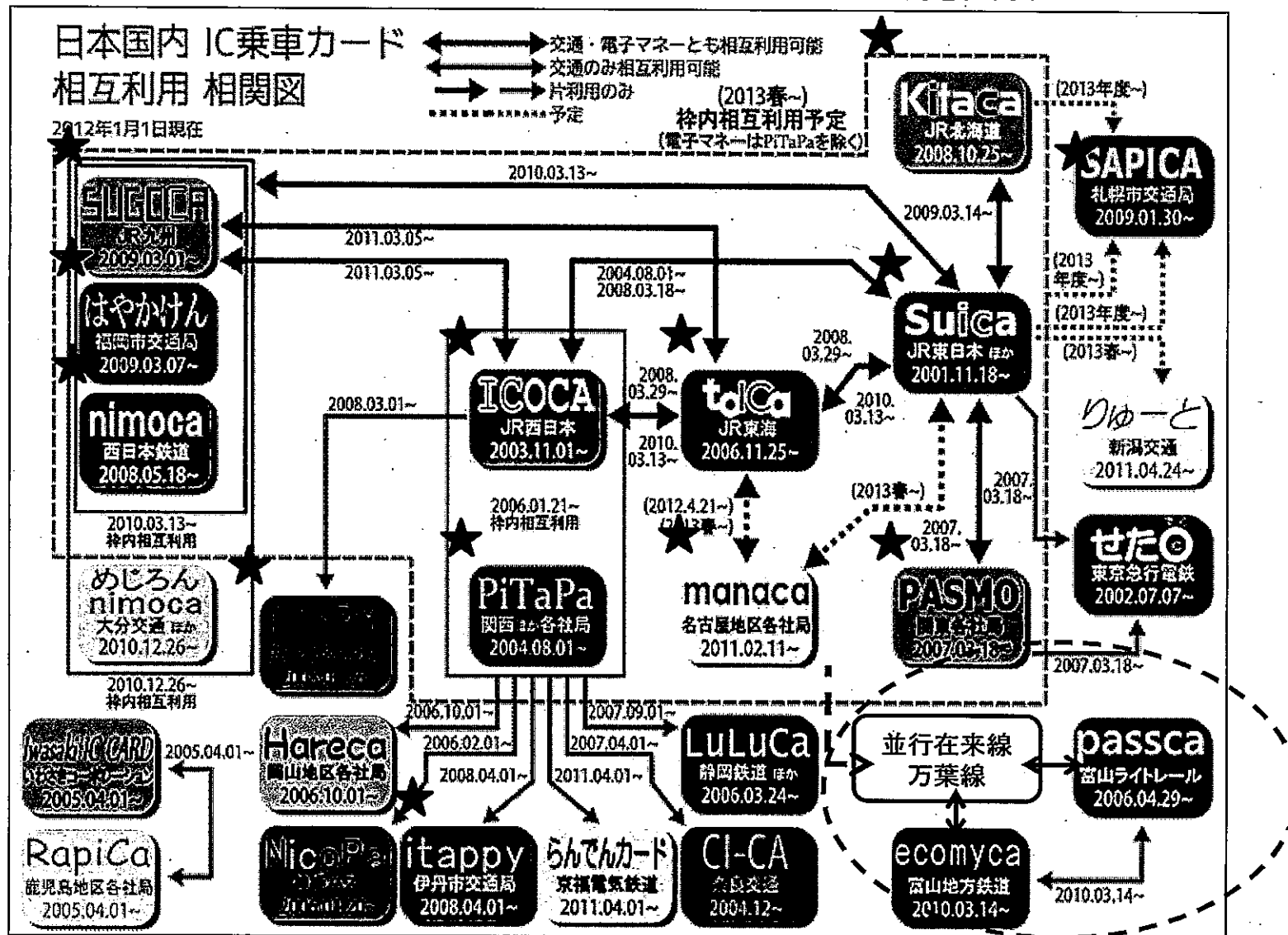
・ケースⅡ、Ⅲには、地鉄、富山ライトレールのICOCA等の片利用、相互利用の費用は含まない。
(機器更新時に別途対応が必要)

2 今後の対応について

並行在来線会社やJR西日本、万葉線、地鉄、富山ライトレールの実務者レベルの「検討会」を立ち上げ、年内をめどに具体的な導入方法を検討するとともに、隣県との調整(精算方法等)を進める。

全国の交通ICカードの相互利用状況と並行在来線・万葉線への導入イメージ

- ・H25春には、JR・大手私鉄の全国の主要なICカードが全国的規模で相互利用可能となる
- ・また、PASPY(広島)については、ICOCAとの片利用が行われている
- 県内カードの相互利用を基本として、全国の主要ICカードとの連携を検討する



出典: Wikipedia

★電子マネー利用可能

全国の交通ICカード導入・相互利用状況

参考

ICカードは、2001年11月のJR東日本のSuicaの導入以降、全国の鉄道・交通事業者で導入されている。

(1) 全国の交通ICカード導入状況

・ 主な交通ICカードの導入状況

- 2001年11月 JR東日本がSuicaを導入(発行枚数3,700万枚(2011/10時点))
- 2002年 4月 東京モノレールがモノレールSuicaを導入
- 2002年12月 東京臨海高速鉄道がりんかいSuicaを導入
- 2003年11月 JR西日本がICOCAを導入(発行枚数601万枚(2011/3時点))
- 2004年 8月 スルっとKANSAI協議会がPiTaPaを導入(発行枚数192万枚(2011/3時点))
- 2004年12月 北陸鉄道がIcaを導入(発行枚数9万枚(2011/9時点))
- 2006年 4月 富山ライトレールがpasscaを導入
- 2006年11月 JR東海がtolCaを導入(発行枚数108万枚(2011/3時点))
- 2007年 3月 バスモがPASMOを導入(発行枚数1,830万枚(2011/7時点))
- 2008年 5月 西日本鉄道がnimocaを導入(発行枚数131万枚(2011/3時点))
- 2008年10月 JR北海道がKitacaを導入(発行枚数30万枚(2011/3時点))
- 2009年 3月 JR九州がSUGOCAを導入(発行枚数51万枚(2011/3時点))
- 2009年 3月 福岡市交通局がはやかけんを導入(発行枚数30万枚(2011/3時点))
- 2010年 3月 富山地方鉄道がecomycAを導入
- 2011年 2月 名古屋鉄道・名古屋市交通局がmanacaを導入(発行枚数107万枚(2011/3時点))

富山県では、2006年「passca」、2010年「ecomycA」が導入されている。

全国の交通ICカード導入・相互利用状況

参考

2012年1月現在Suica/ICOCAを中心としたエリア単位での相互利用が行われているが、2013年春の全国10ブランドカード相互利用により相互利用範囲が全国規模となる見込みである。

(2) 全国の交通ICカード相互利用状況

・ 主な交通ICカードの相互利用状況

- 2004年8月 Suica - ICOCAの相互利用開始
- 2007年3月 Suica - PASMOの相互利用開始
- 2008年3月 ICOCA - tolCa相互利用開始
- 2008年3月 ICOCA - PiTaPa(関西ほか各社局)の相互利用開始
- 2009年3月 Suica - Kitacaの相互利用開始
- 2010年3月 passca - ecomycaの相互利用開始
- 2010年3月 Suica - SUGOCA・はやかけん・nimoca相互利用開始
- 2011年3月 ICOCA - SUGOCA・はやかけん・nimoca相互利用開始
- 2011年3月 tolCa - SUGOCA・はやかけん・nimoca相互利用開始
- 2013年春 全国相互利用10ブランドカードの相互利用開始予定
(Suica、tolCa、ICOCA、PASMO、Kitaca、SUGOCA、nimoca、はやかけん、manaca、PiTaPa)

富山県では、2010年「passca」「ecomyca」の相互利用が開始されている。

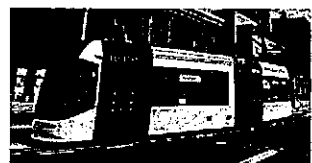
ICカード導入のメリット

- (1) 利便性の向上 (乗り継ぎ円滑化によるシームレスな交通ネットワークの構築)
- (2) 環境への配慮 (繰り返し何度でも使用でき環境に優しい)
- (3) 地域活性化への寄与 (商店街等との利用連携等による購買促進)



県内での利用拡大

- H18 ライトレール
- H21 地鉄(市内電車)
- H22 " (バス)
- H23 " (鉄道)



県外客の増加

- H25春 各JR・大手私鉄の交通ICカードの全国規模での相互利用化
- H26年度末 北陸新幹線開業

並行在来線への導入の検討

- ・県内各交通機関との連携
- ・ICOCA(JR西)、Suica(JR東)等との連携

県内外の利用者の利便性向上
 県内公共交通の利用促進・活性化

